

七条中学校だより10月4号

京都市立七条中学校

令和8年10月6日

発行：校長 林 秀雄

七条中学校創立 70 周年記念式典

10月6日、本校創立70周年記念式典を挙行いたしました。本日は、京都市教育委員会をはじめ、地域や関係諸団体の皆様、多くのご来賓の方々にご臨席いただき、70年の歴史と伝統を振り返るとともに、本校の未来への歩みを力強く確認する節目の日となりました。

式典では、70周年記念事業実行委員長による式辞、ご来賓からのご祝辞、感謝状や記念品の贈呈のほか、生徒会による手形アートのお披露目や吹奏楽部による記念演奏が行われました。また、生徒を代表して生徒会長が感謝の言葉を述べました。その中では、創立以来、本校を支えてくださった地域や保護者の皆様への感謝の気持ちとともに、70周年記念事業で整備していただいた教育環境への謝意、そして七条中学校の伝統を受け継ぎながら新たな歴史を築いていく決意が語られました。以下、その一部を紹介します。

生徒会長 感謝の言葉（抜粋）

本日は、本校創立70周年記念行事にご参加いただき、誠にありがとうございます。

70年という長い歴史の中で、多くの先輩方、地域の皆様、そして保護者の皆様が大切に積み重ねてこられた歩みの上に、今の私たちの学校生活があります。この記念すべき節目に生徒代表として立てることを誇らしく、また大変嬉しく思っております。

この70周年を迎えるにあたり、多くの皆様から温かいご支援とご寄付をいただきました。式典や学校行事で活用できる大型スクリーンの設置をはじめ、体育大会や学校祭で利用できる音響設備、さらに吹奏楽部の楽器など、私たちの学校生活をより充実させるための環境を整えていただきました。新しく整えられた設備を目にするたび、多くの方々が応援し、支えてくださっているおかげだと、感謝の気持ちでいっぱいです。

私自身、吹奏楽部に所属しております。一昨年度に新しい楽器を整備していただいた際には、声を上げて喜んだことを今でも鮮明に覚えています。その温かいご支援に背中を押され、今年度の京都府の大会では金賞を受賞することができました。賞をいただいたその瞬間は、とにかく嬉しさで胸がいっぱいでした。ですが、後から喜びを噛みしめる中で、素晴らしい環境を整えてくださり、応援してくださるすべての皆様の支えがあったからこそ掴めた結果なのだと、深く実感しました。

70年の伝統と皆様からの想いをしっかりと受け継ぎ、私たちはこれからも学習や部活動、そして学校行事に真摯に向き合い、地域に誇れる学校として、また新たな一歩を踏み出していきます。（後略）

70 周年記念手形アート

創立70周年を記念して、生徒会が中心となり、全校生徒一人ひとりの手形を集めた手形アートを制作しました。一つひとつの手形には、それぞれ異なる個性や思いがあります。しかし、それらが集まることで、一つの大きな作品となり、七条中学校の「今」を象徴する素晴らしいアートとなりました。

この作品には、「ひまわりのように一人ひとりが輝く」という願いが込められています。ひまわりは、それぞれの花が太陽に向かって力強く咲き誇ります。七条中学校の生徒たちもまた、一人ひとりが自分らしさを大切にしながら、それぞれの夢や目標に向かって成長してほしいという思いが表現されています。

70年の歴史は、多くの先輩方や地域、保護者の皆様によって築かれてきました。そして、この手形アートは、その歴史を受け継ぐ私たち自身が、未来へ向けて新たな一歩を踏み出す決意の証でもあります。生徒一人ひとりの手形に込められた希望が大きな花となり、これからの七条中学校がさらに輝き続けることを願っています。また、この作品が70周年という節目の年に在籍した私たちの足跡として受け継がれ、未来の後輩たちへ夢や希望、そして七条中学校への誇りを伝えていくことを期待しています。



七中祭オープニング 有志発表

七中祭のオープニングでは、生徒会の企画・運営のもと、5チームの有志による発表が行われました。ダンス、歌、お笑いコントなど、それぞれの個性や特技を生かしたステージが披露され、会場は大いに盛り上がりました。

ダンスには3チームが出場し、息の合った動きと力強いパフォーマンスで観客を魅了しました。一人ひとりが自信をもって表現する姿からは、練習を積み重ねてきた努力と熱意が伝わってきました。歌の発表では、全校生徒の前で一人堂々と歌い上げ、その歌声と表現力によって会場の空気が一変しました。聴く人を惹きつける世界観があり、心に残るステージとなりました。また、お笑いコントでは会場が笑いに包まれ、温かな雰囲気が生まれました。観客との一体感を感じる発表で、多くの人の笑顔を引き出していました。

もちろん、素晴らしいのは発表者だけではありません。発表を温かく見守り、拍手や声援を送りながら鑑賞する生徒の姿も大変立派でした。仲間の挑戦を応援し、その頑張りを認め合う雰囲気が会場全体に広がっていました。

有志の皆さんの勇気ある挑戦と、それを支える全校生徒の温かな姿から、七条中学校の大きな力とエネルギーを改めて感じました。一人ひとりの個性が輝き、それを互いに認め合う。そんな七条中学校らしさが存分に表れた、素晴らしいオープニングとなりました。

明日はいよいよ体育の部本番

これまで皆さんは、学年練習や縦割り練習、応援練習、そして予行練習を重ねながら準備を進めてきました。競技の動きやルールを確認し、仲間と声をかけ合い、作戦を考えながら一步步本番への準備を積み重ねてきたことと思います。

体育の部で大切なのは、勝つことだけではありません。もちろん勝敗はつきます。しかし、それ以上に大切なのは、自分の持てる力を出し切ること、そして仲間と心をつなげて最後までやり抜くことです。一生懸命な姿は、人の心を動かします。一生懸命走る姿、一生懸命応援する姿、一生懸命仲間を支える姿は、本当にかっこいいものです。

競技の結果だけを見れば、順位は一つしかありません。しかし、そこに至るまでの過程には、一人ひとりの努力や挑戦、仲間との協力があります。うまくいったこともあれば、思い通りにならなかったこともあったでしょう。そのすべてが皆さんの成長につながっています。結果だけでなく、その過程に誇りをもってほしいと思います。

特に3年生の皆さんには期待しています。皆さんは七条中学校の最高学年として、多くの先輩たちから伝統を受け継いできました。そして今度は、その伝統を後輩へ引き継ぐ番です。これまでの先輩たちが見せてくれた全力の姿を受け継ぎながら、さらにそれを超えるような姿を見せてください。最後まで諦めずに挑戦する姿、仲間を励まし続ける姿、仲間とともに喜び合い、支え合う姿を後輩たちの目に焼き付けてほしいと思います。

明日は、自分を信じてください。そして仲間を信じてください。一人ではできないことも、仲間となら乗り越えられます。皆さんには、その力があります。

七条中学校の力とエネルギーを、体育の部を通して存分に発揮してください。全力で競技し、全力で応援し、全力で仲間を支える。そんな皆さんの姿を楽しみにしています。

さあ、明日は皆さん一人ひとりが主役です。七条中学校の新しい歴史に残る一日を、仲間とともに作り上げててください。応援しています。